

アナフィラキシーを乗り越え、  
インターハイでスキーリレー優勝果たす



特別インタビュー企画  
秋田北鷹高等学校3年  
遠藤佳人さん  
(上ノ原地区出身)

インターハイで快進撃！  
母校を優勝に導く

2月8日(木)〜11日(日)に富山県で行われたインターハイ(全国高校総体)のスキー競技で、秋田県立秋田北鷹高校に通う遠藤佳人さん(上ノ原地区出身)が、男子10kmフリーで2位、男子10kmクラシカルで3位、男子4×10kmリレーで1位を獲得する快進撃を見せ、母校を優勝に導きました。

大会日	種目	タイム	順位
2月8日	男子10kmフリー	23分25秒6	2位
2月10日	男子10kmクラシカル	27分10秒0	3位
2月11日	男子4×10kmリレー	1時間50分55秒2 <small>佳人さんは一気に5人抜きする区間1位の走りを見せる！</small>	1位

▲佳人さんの出場種目とタイム、順位など



▲優勝したリレーメンバー  
佳人さんは写真右下

を辞めようと思ったこともあったそうです。  
今回は佳人さんに、大会を振り返っての感想や今後の目標を聞いてみました。

佳人さんに大会の感想と今後の目標を聞きました

佳人さんは、スキー一家の遠藤家の3男として育ち、父の純也さんや兄弟にスキーを教わるなど、幼いころからスキーと触れ合ってきました。中学校卒業後は、スポーツ強豪校である秋田北鷹高校(北秋田市)に進学。並みいる強豪選手に負けないよう、日々トレーニングを積んできました。

令和5年4月には、スキー部の主将に選ばれ、「インターハイでリレー優勝」をチームの目標に掲げ、より一層トレーニングに力を入れていきました。

今大会で華々しい結果を残した佳人さんですが、これまでのスキー人生は決して平坦なものではありませんでした。高校2年の夏には、運動が原因のアナフィラキシーを発症し、スキー

を辞めようと思ったこともあったそうです。  
今回は佳人さんに、大会を振り返っての感想や今後の目標を聞いてみました。

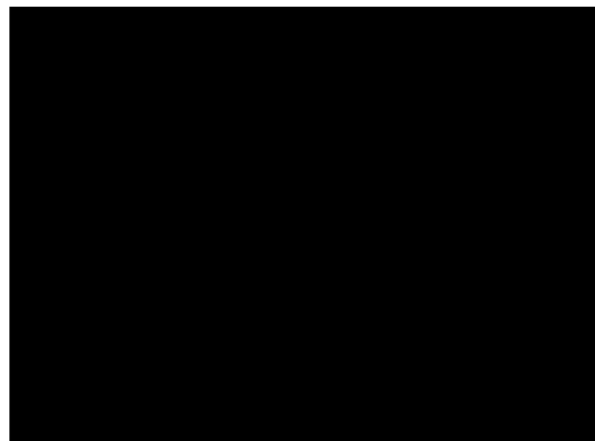
佳人さんに大会の感想と今後の目標を聞きました

ニングで、今回監督の指示で実践しました。これまで監督を信じて練習してきたことに良かったです。

広報担当 過去にアナフィラキシーを発症されたと聞きましたが、佳人さん 高校2年の時、夏の北海道合宿で突然全身に赤い発疹が出ました。診断の結果、「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」という病気で、食後の運動が原因で起こるアナフィラキシーでした。他のみんなと一緒に練習ができなくなり、毎日、焦りと不安でいっぱいでした。スキーを辞めようと思ったこともありましたが、部員や家族など、周囲の温かい応援によって、めげずにスキーを続けることができました。

広報担当 あこがれの選手や尊敬している人はいますか？  
佳人さん フィンランドのスキー(クラシカル)選手で、イボ・ニスカネン選手です。走り方が格好良く、軽やかな動きで、尊敬しています。

広報担当 休みの日の過ごし方を教えてください。  
佳人さん ゆっくりランニングすることや、自転車に乗ってこ



▲楽しそうに夢を語る佳人さん

飯を食べに行つて息抜きをしています。

広報担当 最後に今後の目標を教えてください。  
佳人さん 4月からは東洋大学に進学する予定で、これからもスキーを頑張ります。今の目標は、全日本学生選手権(インターカレッジ)で個人と団体、両方で入賞することです。

また、世界選手権大会に出場して、世界レベルの選手と戦ってみたいです。引き続き、応援よろしくお願いします！